

## フィールドロガーシリーズ

### Eメール送信器

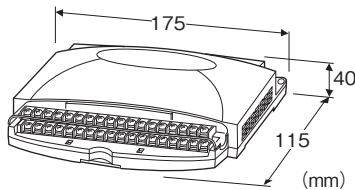
(I/O内蔵形)

#### 主な機能と特長

●入力データを監視し、FOMA回線や一般公衆回線、ISDN回線からEメールにて異常メッセージを携帯電話、パソコン等へ送信

#### アプリケーション例

- 遠隔設備の監視・保守
- 遠隔設備の異常通報



## 形式:TLOM-1-M2

### 価格

基本価格 150,000円

### ご注文時指定事項

・形式コード:TLOM-1-M2

### 供給電源

◆交流電源

M2: 100~240V AC(許容範囲 85~264V AC、47~66Hz)

### 関連機器

- ・コンフィギュレータ接続ケーブル  
(形式:MCN-CONまたはCOP-US)
- ・バックアップ電池ユニット(形式:TLB1)
- ・電話回線用避雷器(形式:MD-TL)

### 付属品

・設定用ソフトウェア CD 1枚

### 機器仕様

#### 接続方式

- ・入力:M3ねじ端子接続(締付トルク 0.5N・m)
- ・RS-232-C:9ピン、Dサブコネクタ(オス形)  
(コネクタ固定ねじ No.4-40 UNC)

- ・供給電源:コネクタ形ユーロ端子台  
(適用電線サイズ:0.2~0.5mm<sup>2</sup>、剥離長 7mm)
- ・コンフィギュレータ:ビルダ接続用ジャック、ステレオジャック
- アイソレーション:入力-RS-232-C・メンテナンス用端子・供給電源モニタ接点入力・バックアップ電源入力-電源-FG間
- モード設定:ロータリスイッチにより設定可能
- RUN表示ランプ:緑色LED、正常時点滅

### 無線通信端末仕様

#### FOMA 通信アダプタ

- ・D2F Assist(販売終了)
- ・moderno.S(サンデン製)(販売終了)
- ・moderno.M(サンデン製)(販売終了)

注)FOMA接続を行う場合に必要になります。お客様ご用意となります。詳細は別途お問い合わせ下さい。

### RS-232-C仕様

通信規格:EIA RS-232-C準拠

通信方式:全二重調歩同期式

伝送速度:2400、4800、9600、19200、38400、57600bps  
(無線通信端末の場合は19200bps固定)

ケーブル(お客様ご用意)

- ・無線通信端末の場合:ストレートケーブル
- ・アナログモデムの場合:ストレートケーブル
- ・TAの場合:TAに付属のシリアルケーブル、またはTAの仕様書で指定されているシリアルケーブル

### 入力仕様

■入力信号:無電圧スイッチ24点

コモン:全点マイナスコモン

検出電圧:約5V DC(プルアップ抵抗22kΩ)

検出レベル:オン1.5V以下、オフ4V以上

■メンテナンス用端子:無電圧接点入力1点

検出電圧:約5V DC(プルアップ抵抗22kΩ)

検出レベル:オン1.5V以下、オフ4V以上

■供給電源モニタ接点入力:無電圧接点入力1点

検出電圧:約5V DC(プルアップ抵抗22kΩ)

検出レベル:オン1.5V以下、オフ4V以上

### 設置仕様

#### 消費電力

・交流電源:約10VA

使用温度範囲:-5~+60℃

使用湿度範囲:30~90%RH(結露しないこと)

取付:壁またはDINレール取付

質量:約350g

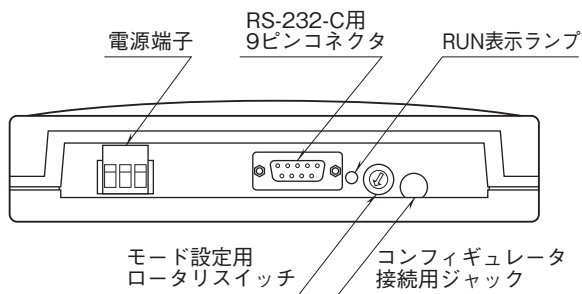
## 性能

絶縁抵抗:100MΩ以上/500V DC  
 耐電圧:入力-RS-232-C・メンテナンス用端子・供給電源モニ  
 タ接点入力・バックアップ電源入力-電源-FG間  
 2000V AC 1分間

## 本器設定用パソコン環境

パソコン:RS-232-C(9ピン、Dサブコネクタ)または、USBポート(バージョン1.1以上)の接続が可能なこと  
 OS:Microsoft Windows 2000、XP、Vista Business 32bitまたは7 Professional 32bit

## パネル図



■ RS-232-C インタフェース



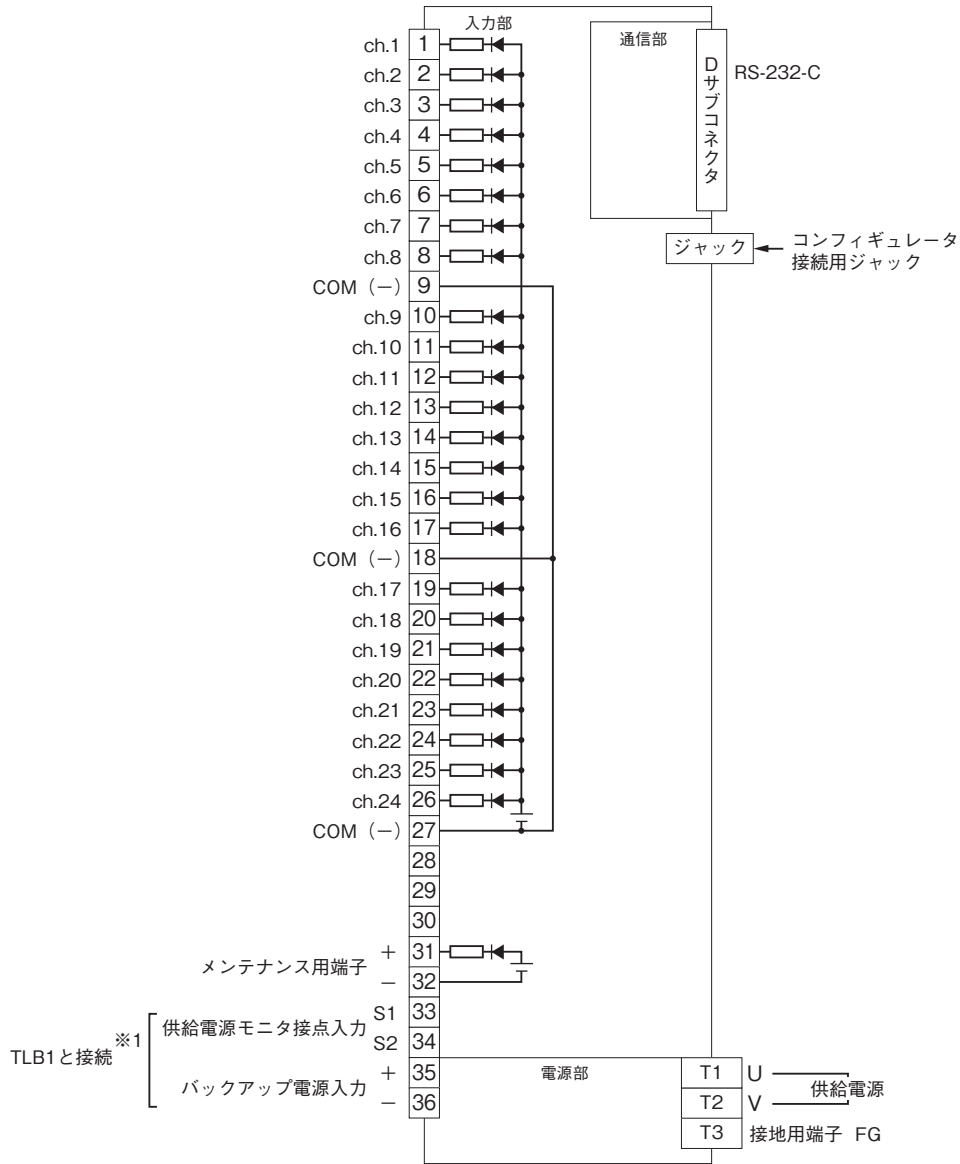
略号	ピン番号	機能	信号の向き
			本器 - DCE
DCD	1	キャリア検出	←
RXD	2	受信データ	←
TXD	3	送信データ	→
DTR	4	受信可能	→
GND	5	グラウンド	-
DSR	6	データセットレディ	←
RTS	7	送信要求	→
CTS	8	送信許可	←
RI	9	リング検出	←

■モード設定用ロータリスイッチ

- 0 : 動作時
- 1 : ビルダ使用時
- 2 : 通信確認時\*1
- 3 : 使用不可
- 4 : 通信確認時\*2
- 5~F : 使用不可

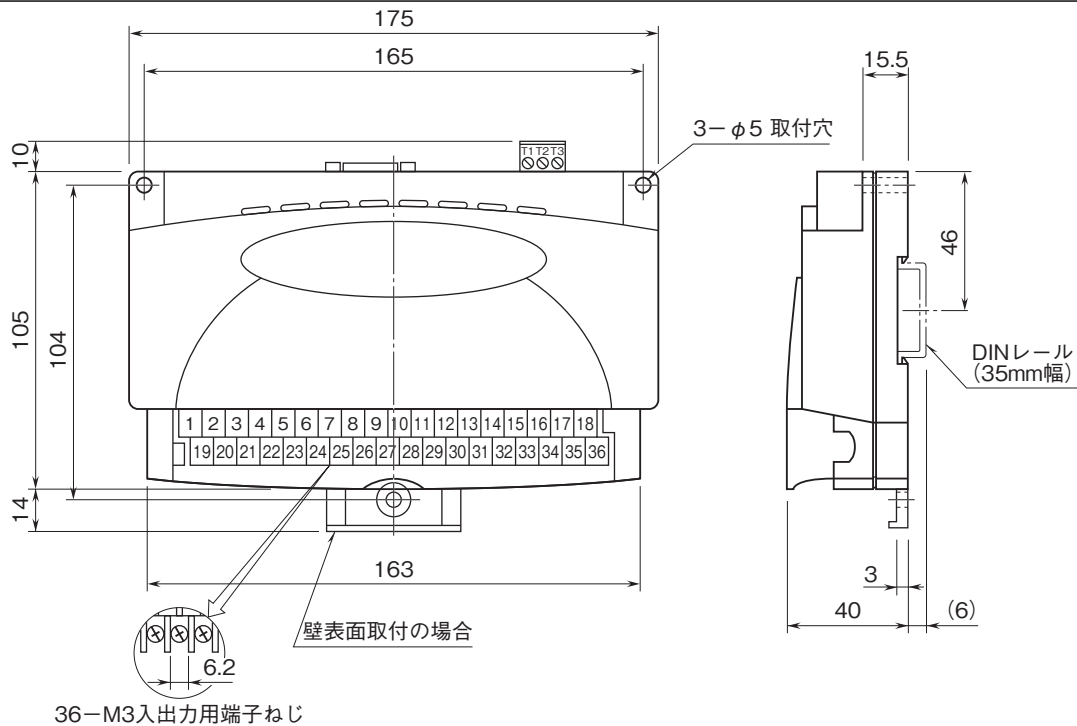
- \*1、データ通信の内容をコンフィギュレータ接続用ジャックからパソコンへ出力します。
- \*2、本器とDCE間の通信をコンフィギュレータ接続用ジャックからパソコンへ出力します。

端子接続図



※1、バックアップ電池ユニット（形式：TLB1）と組合わせて使用することで、停電、復電時のメール通報が可能となります。ただし、通報にはご使用の周辺機器（無線通信端末やアナログモデム、TAなど）が動作している必要があります。別途それらの機器についても電源バックアップを行ってください。なお、停電時は接点入力検出を行いませんので、停電中に接点の状態が変化しても事象通報は実行されません。

## 外形寸法図(単位:mm)・端子番号図



## 主な機能

検出機能:0.5秒毎に接点24点と供給電源モニタ接点の状態を検出

Eメール通報機能

- ・認証方式:POP、APOP、SMTP-AUTHに対応
- ・事象通報:1事象毎に1つのEメールを生成し、指定通報先に通報
- ・定時通報:基準時刻から指定周期(10~1440分)毎にEメールの通報が可能
- ・通報先:3箇所の通報先メールアドレス(1アドレス最大40文字)が設定可能

・リダイヤル回数:0~5回

・リダイヤル周期:60~180秒

時計自動調整機能

・NTPサーバを利用して、システム時間の自動調整が可能

・NTPサーバ:3箇所まで設定可能

・調整周期:1~240時間

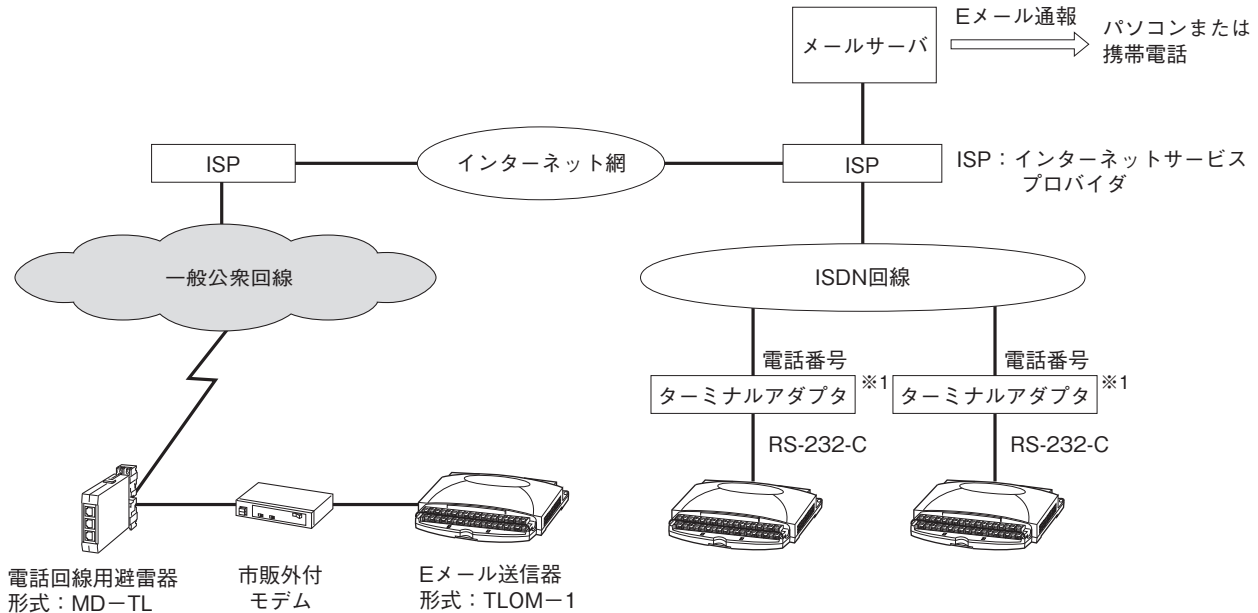
・リダイヤル回数:0~5回

・リダイヤル周期:1~15分

## システム構成例

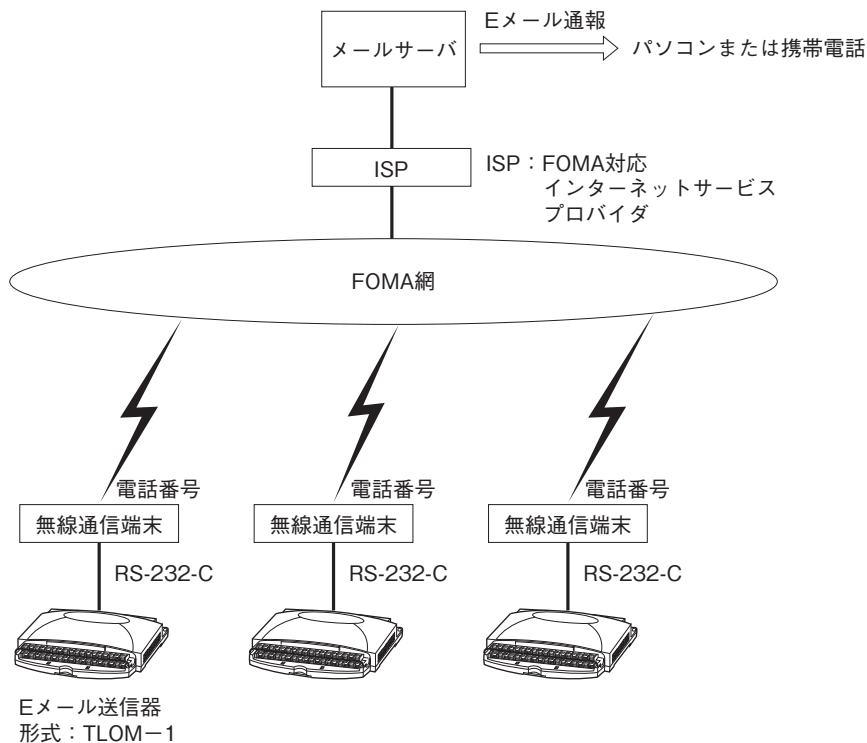
下記のシステム構成にて本器（形式：TLOM-1）以外は全てお客様にてご用意ください。

### ■ダイヤルアップ接続



※1、ATコマンド機能があるものをご使用ください。

### ■FOMA接続



注、Eメール通報をご使用の場合には、別途プロバイダが用意するメールサーバのメールアドレスが必要になります。



- 記載内容はお断りなしに変更することがありますのでご了承下さい。
  - ご注文・ご使用に際しては、弊社ホームページの「ご注文に際して」を必ずご確認ください。
  - 本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制をご確認の上、必要な手続きをお取り下さい。
- 安全保障貿易管理については、弊社ホームページより「輸出（該非判定）」をご覧ください。
- お問い合わせ先 ホットライン：0120-18-6321